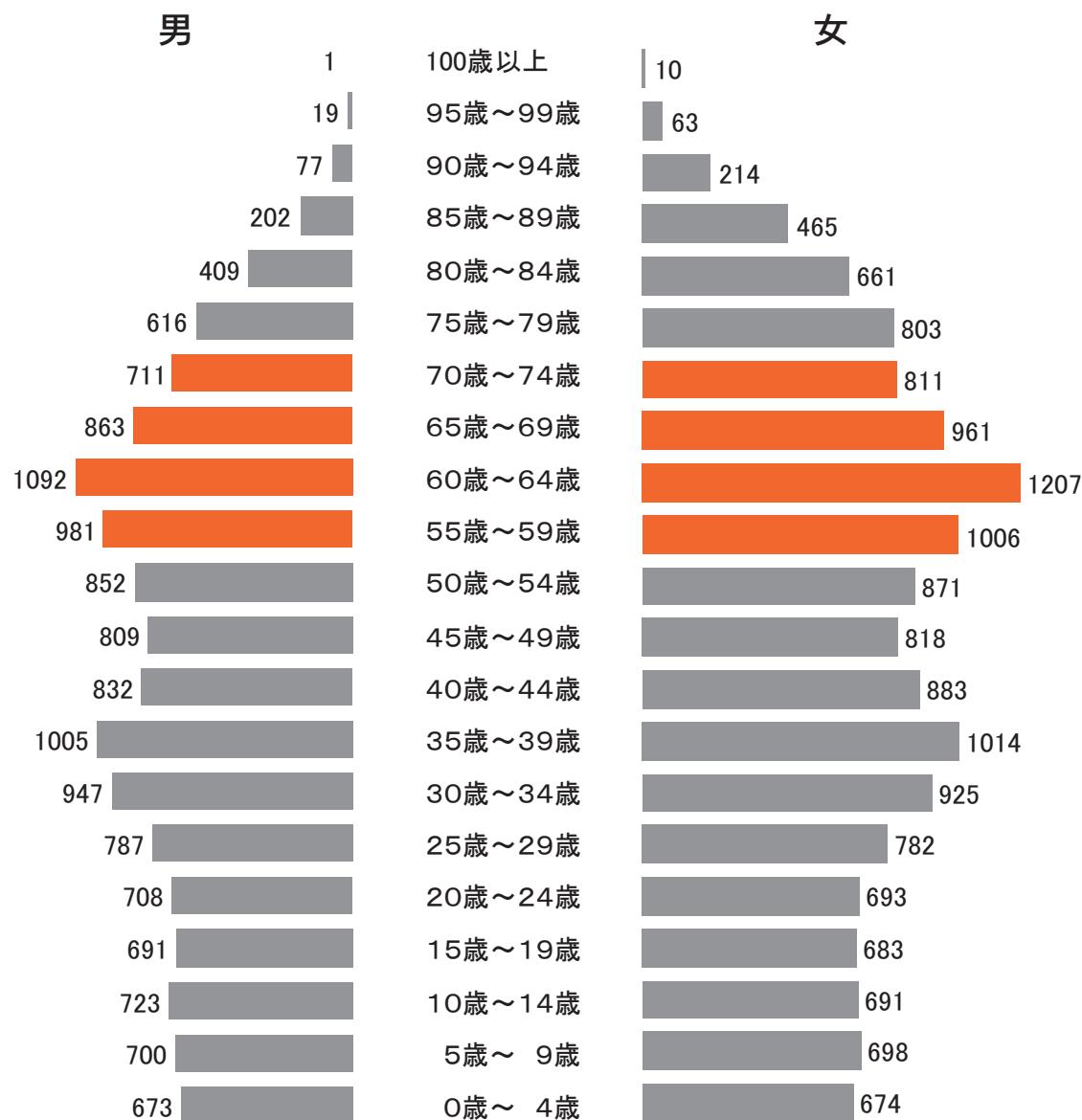


広報

てくじ

2010 11

No. 438



特集
⋮⋮⋮

引退するのはまだ早い！ 豊富な知識と経験を地域のために 日出町シルバーパートナーセンター設立

このグラフは、平成 22 年 10 月 1 日現在の日出町の年齢別・男女別人口分布図です。グラフを見ても高齢化社会は着実に進んでいます。高齢者が生きがいをもち、いきいきと健康に暮らせる町づくりが求められています。定年退職しても、まだまだ 60 歳。これまで培ってきた知識や経験を活かせる場が必要です。

日出町シルバー人材センター設立

その能力と経験を埋れさせるな！ 高齢者の活気が町の活性化につながります

平成23年4月から日出町シルバー人材センターがスタートします。

長い間現役で社会を支えてこられ、定年を迎えたからといってこれまで培ってきた経験や能力を埋もれさせるのはとてももったいないことです。

これから進む高齢化社会の中、高齢者の力がますます重要になります。

シルバー人材センターとは

定年退職した高齢者などに、健康でいきいきとした生活を送つてもらうために、臨時的な就業の場を提供するものです。

高齢者の就業ですので、危険や有害をともなう作業は引き受けません。

ここで就業する人材は、まずシルバー人材センターに登録します。

町民や企業、公共団体から仕事の依頼があれば、シルバー人材センターで適任者を選定し、派遣します。仕事を完了後、就業内容に応じて配分金が支払われます。

以前から、「シルバー人材センターは日出町にはないのか」との問い合わせが多くありました。

そこで、昨年12月からシルバー人材センター設立のための検討を重ねてきました。

今年の6月には設立に対し10歳きぎみに各100人、合計700人を無作為に抽出し、アンケート調査を実施しました。

平成23年4月に業務を開始するため、今後、人材の募集や事務局員の選定を行っていきます。

役場では、設立までの支援を行っていきます。その後は、シルバー人材センターが自主運営を行い、3年後には法人化を目指します。

地域のために働くことで、自分の存在を感じ、いつまでも元気で生きがいのある生活を送つていただきたいと考えています。

高齢化社会が進む中で、高齢者が活気づくことが地域の活性化につながります。

生きがいのある生活を送る

まずは会員に登録

シルバー人材センターでは、これから働いていただく会員を募集します。健康で働く意欲のある60歳以上の町民であれば、どなたでも登録できます。12月までに入会説明会を開催します。

詳細は改めて回覧でお知ら

想定される就業内容

屋内外一般作業 公園清掃／樹木消毒／除草／草刈／包装作業など

サービス分野 家事補助／子育て支援／介護事業／観光ガイドなど

技術を要する分野 ふすま貼り／大工仕事／ペンキ塗り／植木手入れなど

事務分野 毛筆筆耕／宛名書き／受付事務など

せする予定です。

会員になると、平成23年1月に開催するシルバー人材センター設立総会に出席していただきます。また、作業分野によつては、講習会に参加していただくことがあります。

20歳代から80歳代の700人を抽出し、シルバー人材センターについてのアンケートを実施しました。回答者は214人、回答率30・6%でした。回答率は、50歳以上の方が多く、特に50歳代と60歳代ではそれぞれ51%と関心が高いのが分かります。

仕事を依頼するには

依頼したい仕事があれば、まずシルバー人材センターにお問い合わせ下さい。事務局職員が相談にのらせていただきます。

仕事の内容に応じて作業代金の提示、登録会員による現地見を行い、契約書を交わします。

問合先

企画振興課
☎ 73-3116

アンケート集計結果

■問 シルバー人材センターを設立することについて

回答 良いことだ 203人

■問 シルバー人材センターに仕事を依頼するか

回答 依頼を検討したい 126人

依頼はないだろう 44人

■問 どのような仕事なら会員登録したいと思うか
(60歳以上の方のみ回答)

回答 屋内外一般作業 19人 サービス分野 16人

技術を要する分野 15人

事務分野 12人

■問 どのような仕事なら依頼してみようと思うか

回答 屋内外一般作業 108人

サービス分野 52人

専門的技術分野 1237人

引退するのはまだ早い！豊富

な知識と経験を地域のために

シルバー人材センターに先がけて、高齢者支援のための有償ボランティアを行っている団体があります。ここで働くひと、そしてここに仕事を依頼するひと。シルバー人材センターの目指すものがここにあります。

「高齢者にとつて、生きがいを感じられる場を提供することが大事なんです」と話すのは、『NPO法人ケアサポートみすず』の安藤真理理事長です。

安藤さんは、隣近所の交流が希薄化している現状に危機感を覚え、お年寄りが気軽に集まり、趣味やお話ができるサロン「ふらうつとホーム・アゴラ」を開設するなど、高齢者の居場所づくりにさまざま活動を続けています。

そんな安藤さんは、シルバー人材センターの必要性をずっと感じていたそうです。

そして8年前、高齢者支援のための有償ボランティアを始めました。

これは、日出町がこれから始めようとする「シルバー人材センター」とほぼ同じ仕組みのものです。

立ち上げのための資金集めや会員集めに苦労し、準備期間に2年間かかったと言います。「地域にはお年寄りが増え

え、庭の草木の手入れなどが自分でできなくなつたという声を多く聞いていました」と話す安藤さん。「団塊の世代が退職を迎える中で、まだまだ健康で引退するには早いという方が多くいます。知識や経験も豊富です。こういった人たちの手を借りながら、高齢者にやさしいまちづくりができるばと考えていました」と言います。

安藤さんの始めた活動は、

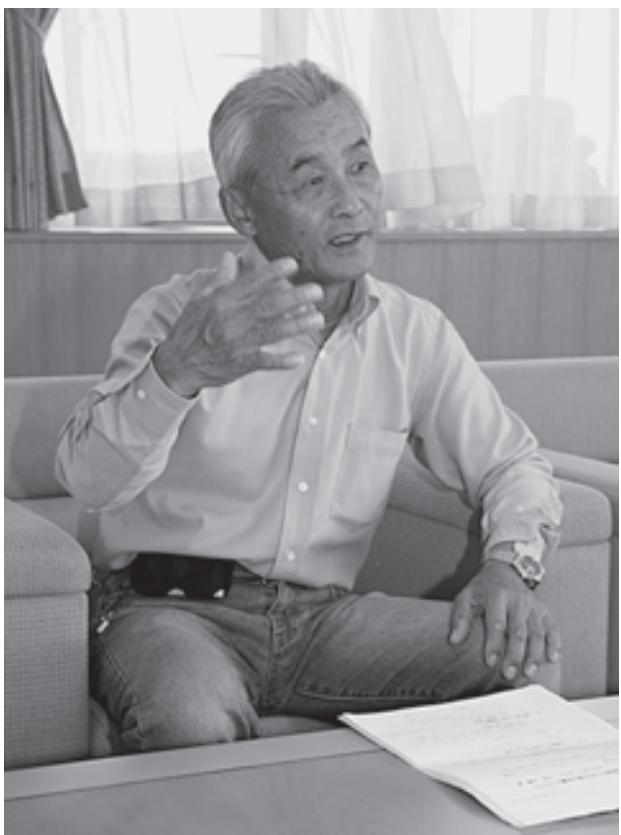
三浦さんは定年後、安藤さんと高齢者支援の立ち上げに協力しながら自身もその会員として活動しています。「人に喜んでもらえるのが何よりうれしい。また、依頼者と話をすることも楽しみの一つ」と、話します。

この日は依頼者のお宅で庭木の剪定作業。「体も元気、シルバー人材センターにも協力します」と話してくれました。



三浦光智さん（川崎内野）

「生きがい」と「安心感」、シルバー人材センターの役割は大きい



NPO 法人ケアサポートみすゞ
理事長 安藤 真さん

「これから高齢化は進む一方です。シルバー人材センターの役割はますます大きくなると思います。働くということは人の役に立つこと。そのことで生きがいや喜びを感じることができます。仕事を依頼する高齢者は、気軽に仕事をお願いする場があるという安心感が生まれます。今、高齢者だけの世帯も増えています。人材センターから派遣された会員とのささいな会話をとても喜んでいただけますよ」。

「生きがい」と「安心感」、シルバー人材センターの役割は大きい

くさんの仕事が入るようになり会員たちは仕事をこなすのが大変だったそうです。「これまでがんばつてこられたのも、地域の方たちに喜ばれ、それが自分たちもうれしく、やりがいを感じることができたからです」と話します。安藤さんはこの活動を始めたと

き、3年から5年の活動で終わらせる予定だつたそうですが、「自分たちがモデル的な活動を行い、他の団体や町がそれに続いてくれると思っていました。それだけ必要な仕組みだと感じていましたから」、「しかし、町もなかなか動いてくれませんでした。結

局8年間も続けることになりました」と苦笑いします。

「やつと町が動いてくれました。高齢者の手助けをする私たち会員もこの8年で歳をとりました。後は町に引継ぎたいと思います」と安堵した表情で話します。

安藤さんは、シルバー人材センターの必要性を次のように話します。

平井さんは、「ケアサポートみすゞ」に庭木の剪定作業を依頼して3年目。以前は専門業者にお願いしたり、ご主人さんが手入れしたりしていました。

「主人も私も歳をとり、自分たちだけではなかなか手が行き届きません。そんな時、知人からここを紹介してもらいました。金額も安く、本当に親身になって作業してくれて助かっています」と話してくれました。



平井 陽子さん（豊岡長野）

「日出町にこにこ通貨カレイ」がより使いやすくなります 町内の商店や施設で使えるお得な通貨

住民主体のまちづくりや地域コミュニティの再構築を目指し導入した地域通貨「日出町にこにこ通貨カレイ」。使用するためには、これまで住基カードの作成など面倒な手続きが必要でしたが、12月1日からは、住基カードにポイントを貯める方式から、普段使用しているお金と同じように1枚当たり100カレイの紙幣へと変更することで、誰もが使いやすい地域通貨となります。

今月号では地域通貨で何ができるのか、そしてこれまでと何が変わったのかを説明します。

「日出町にこにこ通貨カレイ」とは

協賛店や施設で使用することができます。

地域通貨でできること

平成18年12月1日から住民主体のまちづくりや地域コミュニティの再構築などを目的として、町の地域通貨である「日出町にこにこ通貨カレイ」を導入しました。

地域通貨は、私たちが普段使っているお金とは違い、特定の地域やコミュニティでしか使えない通貨です。

「日出町にこにこ通貨カレイ」

は、ボランティア活動やエコ活動

などの対価として配付されるもので、獲得した地域通貨は、町内の

獲得した地域通貨は、感謝の気持ちとして人へ渡したり、ストラップやハンドタオルなどのグッズと交換したり、施設での入浴券や入園券との交換、協賛店で直接使用する方法があります。

グッズや券との交換は、企画振興課または二の丸館でできます。

これらの活動を団体で行う場合には、事前に企画振興課へ申請す

地域通貨をもらうためには

地域通貨を獲得するためには、ボランティア活動やエコ活動などを

する必要があります。

ボランティア活動については、

地域のゴミ拾いや町有地の草刈、

福祉施設等の慰問などが対象とな

ります。半日の活動で100カレ

イ、1日の活動で200カレイを

獲得できます。

これらの活動を団体で行う場合

には、事前に企画振興課へ申請す



- 12月1日から、「日出町にこにこ通貨カレイ」が紙幣になり、使いやすくなります。
- 協賛店での商品割引や施設入園券と交換など、さまざまなお徳なサービスが受けられます。

ボランティア活動やエコ活動で 地域通貨をゲットしよう！

地域通貨が使える協賛店・施設・使えるものについては、来月の町報でお知らせします

る必要があります。また個人で行う場合には、区長等からの報告書が必要となります。

エコ活動については、牛乳パック（リットル）のリサイクルが対象となり、切り開いて洗ったパック20枚を1束として、企画振興課または各ふれあいセンターに持ち込むことにより、100カレイを獲得できます。

活動を行う際の申請方法は

●団体で活動を行う場合

閉庁日を除く5日前までに「日出町にこにこ通貨カレイ交付申請書」を提出します。

同月に同様の活動を複数回行う場合については、まとめて申請することも可能です。

活動後、閉庁日を除く10日以内に「日出町にこにこ通貨カレイ活動報告書」を提出します。

個人で活動を行う場合は事前に申請する必要はありません。

人が、活動後、区長等からの報告書の提出が必要となります。

※申請するボランティア活動等が対象となるかどうか、ご不明な場合はお問い合わせください。

誰でも使いやすいように地域通貨を紙幣に変更

これまで、住基カードにポイントを貯める方式で運用を行つきましたが、住基カードでのポイントの受け渡しには、パソコンが必要になることや住基カードの発行に手間がかかることなどが課題となっていました。また、システムの維持管理費等も必要であるためコスト面での問題もありました。

そこで、誰もが気軽に使え、民間での地域通貨のやりとりを簡略化するために、12月1日から地域通貨を紙幣に変えることになりました。

現在保有しているカレイは紙幣への交換が必要

12月1日からの変更点

一ドなどで保有しているカレイは、平成22年12月1日から平成23年3月31日までの間に紙幣に交換する必要があります。この日を過ぎると無効になりますので、必ず期日までに交換をしてください。

なお、紙幣への交換は企画振興課の窓口で行います。

- ①住基カードから紙幣に変更。
- ②紙幣に有効期限が設けられます。（獲得した日が属する年度の翌年度の3月末）
- ③100カレイは、100円を基準とします。
- ④商品の交換レートが変更になるものがあります。（ハーモニーランド等）
- ⑤新聞のリサイクル活動を停止。（町及び新聞社の新聞リサイクル活動を利用してください）
- ⑥乳幼児健診や育児相談などへの参加に対しての配布を廃止。
- ⑦団体でボランティア活動等を行う場合は、事前申請及び活動報告書の提出が必要となります。

■問合先 企画振興課
☎ 73-3116

知りたい町政情報

日出都市計画団地地区計画原案を策定

都市計画原案の縦覧ができます



途や高さ等を制限した都市計画原案を作成しました。

つきましては、次の日程で都市計画原案を縦覧することができます。日出町の住民及び原案にかかる区域内での土地の利害関係者で、意見のある方は縦覧期間内に意見書を提出することができます。

原案の縦覧期間

11月12日（金）～11月26日（金）

意見書の提出期間

11月12日（金）～11月26日（金）

原案の縦覧先・意見書の提出先

都市建設課

現在日出町では、日出団地地区において、住宅地としての環境の維持増進と美しい町並みの保存を目的とした地区計画の策定に取り組んでいます。

策定にあたっては日出団地地区の方を対象にアンケート調査や説明会を開催し、問題点や方向性を取りまとめたうえで、建築物の用

平成23年度の町立幼稚園の入園を受け付けます

受付期間
12月6日（月）～12月17日（金）
該当児
○町内に居住していること。
○平成17年4月2日～平成18年4月1日に生まれた幼児。

申込先

居住地の町立幼稚園

持参品

印鑑

その他

○夫婦共働きの家庭などを対象に、通常の保育終了後、最長18時まで預かり保育を実施しています。（別途料金が必要です）
○給食を実施しています。（月4,000円程度）

問合先

日出町教育委員会教育総務課

☎ 73-3157

都市建設課 ☎ 73-3172
<http://www.hiji.town.oita.jp>

傍聴者してみませんか？ 移動教育委員会を開催

教育委員会では、教育行政に関する様ざまな問題について会議を行っています。11月の定例会議を日出町保健福祉センターで開催します。傍聴を希望される方は、申し込みをしてください。

- とき 11月25日（木）10時～ 受付9時30分～
- ところ 日出町保健福祉センター
- 申込期限 11月22日（月）
- 申込・問合先 教育委員会教育総務課 ☎ 73-3157

TOWN INFORMATION

制度改正や手続きなどの、暮らしに役立つ情報をお知らせします

仁王住宅・豊岡住宅に空きがあります

町営住宅入居者募集

次の町営住宅に空室がありますので、入居者を募集します。

■募集期間
11月1日（月）～11月19日（金）

【町営・仁王住宅2戸】 1・2階
○所在地
日出町970番地

■抽選日
11月26日（金）10時～

○構造
中層耐火構造

■抽選場所
役場新館3階332会議室

○家賃
16,800円～
26,500円

■応募資格

次のすべてに該当する方。

○駐車場 1台（無料）
*浴槽、ボイラーや下水道設備有。

【町営・豊岡住宅1戸】 2階

○所在地
豊岡6060番地29
○構造
中層耐火構造

■投稿内容
身近な話題（地区の行事、催し物、スポーツ、ボランティア活動、趣味の活動など）

*投稿する方の氏名・住所・電話番号、表題、本文（200文字以内）、写真（2枚以内・写真説明・撮影日時・撮影場所）

○注意事項
○独立して他の者の扶養に入っていること。
○住宅に困っていること。
○入居者が暴力団員でないこと。
○写真の作成、投稿に要する郵送料などは、投稿者の負担となります。
○投稿された記事・写真はお返しありません。
○記事・写真の掲載の可否、内容

■投稿方法
メールか郵送

○投稿・問合先
総務課広報広聴係 73-31592
50-〒879-11592
町2974番地1 メールアドレス
sh415@town.hiji.oita.jp

身近な話題を町ホームページに掲載しませんか？

記事と写真を募集します

現在、町ホームページの掲載内容を充実させようと準備を進めています。

その一環で、皆さんの周りで起きた身近な話題を町のホームページに掲載したいと考えています。そこで、地域の皆さんからの記事と写真を募集します。

○投稿された記事や写真は、町が発行する印刷物等に使用する場合があります。

○次に該当する記事・写真是掲載しないことがあります。
法令または公序良俗に反するもの／政治的・社会的な主張を主たる目的とするもの／特定の個人・団体を中傷するもの／商業・営利を目的とするもの／投稿者または市に著作権・使用権がないもの／その他不適当と認められるもの。

○駐車場 1台（無料）
*浴槽、ボイラーや下水道設備有。

■問合先
都市建設課管理係
73-3172

TOWN TOPICS



ウォーキングを楽しむ参加者

今年は5回目の開催を記念して、「ウォーキングイメージガール」を募集。応募者の中から小川優子さん（高尾）と上野由美子さん（一北）が選ばれ、大会中は参加者とウォーキングを楽しんだ

10月17日、「第5回ザビエルの道ウォーキング大会」が開催され、県内外からおよそ650人が参加しました。

参加者は、5・10・20kmの3コースに分かれてスタート。

10kmのコースでは、フランシスコザビエルが大分に布教に訪れた際、通つたとされる西鹿鳴越道などを歩き、自然と歴史を感じながら心地よい汗をかきました。

り、豚汁を振舞つたりと、参加者と交流しました。

二人は今後、町内のウォーキング大会などのイベントで

ウォーキングの普及活動を行

います。

第5回ザビエルの道ウォーキング大会 自然と歴史を感じながら歩く



ウォーキングイメージガールの小川さん（左）、上野さん

まちの わだい

町内であつた「あんなこと」、「こんなこと」をお知らせするコーナー

情報提供はこちら

総務課広報広聴係☎ 73-3150 FAX 72-7294



全国大会に出場する選手ら

大分県障害者スポーツ大会・九州障害者スポーツ大会で優秀な成績を収め、全国大会への出場が決まり、10月8日、選手らが工藤町長に大会出場報告をしました。

大会には陸上競技やボーリング、フライングディスク、車椅子バスケットボールなどの競技に5人の選手が参加します。

選手団長の矢野光男さんが「選手一致団結し、練習の成果を十分に發揮します」と決意表を明しました。

練習の成果を発揮する 全国障害者スポーツ 大会出場



災害時には駆けつけます

10月13日、日出町消防団第5分団第1部（日出・厚田和伸部長）に求助式材登載型車輌が納車されました。これは、国から無償で貸与されたものです。この車輌には、AEDや油圧カッター、チエンソーや油圧ポンプなどが装備されており、火災時のほか、災害時の人命救助などにも対応できるようになっています。

厚田部長が「日出町全体の防災の要となることを誓います」と謝辞を述べました。

地域防災の要に 消防団積載車を納車



大学・県・町が手を結び新たな町づくりを

10月14日、役場で別府大学と日出町とが相互協力協定を結ぶ調印式が行われ、関係者が出席するなか、次森久雄東部振興局長の立会いのもと、日高紘一郎別府大学理事長と工藤町長が調印を行いました。

協定書には、健康づくり、食育、福祉の充実に関することや歴史文化遺産の保存・活用に関すること、教育、ス

ポーツ振興に関することなど8項目が挙げられています。式では、工藤町長が「大学がもつ専門的知識は、これから多くの町づくりに必要なものであります。この調印を有意義なものにしてみたい」と。また、「大学にはたくさんの留学生があります。町内の子どもたちとの交流事業を行い、外国の言語、文化、習慣に触れてもらいたい」とあいさつしました。

その後、日高理事長が「人材育成はもちろん、地域社会との連携も大学がもつ重要な役割です。多くの歴史文化が残る日出町との調印をうれしく思います」とあいさつしました。

日出町は、他にもアジア太平洋大学や大分大学と協定を結んでおり、各種イベントでの協力や交流事業を行っています。

別府大学と日出町が相互協力協定を調印 専門的知識をこれから町づくりに役立てる



休日当番医

※診療時間 9:00~17:00

※発行後に変更になる場合があります。各医療機関や日出町健康増進課☎73-3130にご確認ください。

11月3日(水)	こうまつ循環器科内科クリニック	73-0077
7日(日)	てしまこどもの杜クリニック	28-0870
14日(日)	江本眼科	28-1700
21日(日)	島田内科クリニック	28-0280
23日(火)	すずらんクリニック	73-2151
28日(日)	松本整形外科クリニック	73-2775
12月5日(日)	さくら医院	28-0777
12日(日)	金田耳鼻咽喉科医院	28-0810
19日(日)	日出嶺玉病院	72-2724

ひとり親家庭に対する自立を支援するため、8月1日から父子家庭にも児童扶養手当が支給されます。なお、受給するためには、役場で申請する必要があります。

ただし、受給には所得制限があるります。

支給額は、養育する子どもの人数や受給資格者の所得により変わります。

①1人目の子ども
9,850円 41,710円

②2人目の子ども
①の算出額+5, 〇〇〇円
③3人目以上の子ども
①の算出額+3, 〇〇〇円

申請手續

受給するためには、役場での申請が必要です。

なお、8月分から11月分の児童扶養手当は12月に支給します。

申請日と支給月の関係は次のとおりです。

■ 7月31日現在、支給要件に該当

児童扶養手当の支給対象が拡大

父子家庭にも児童扶養手当が支給されます

育していることなど。

する子どもを有している方
11月30日までに申請すれば、
8月分からの児童扶養手当が支
給されます。

8月1日から11月30日までの間に、上記いづれかの支給要件が生じた場合

11月30日までに申請すれば、要件に該当した日の翌月分から支給されます。

12月1日以降に、上記いずれかの支給要件が生じた場合
申請した日の翌月分からの支給となります。

*申請に必要な書類は、該当する支給要件によつて異なります。詳しくはお問い合わせください。

問合先

福祉対策課子育て支援係
73-3121

家族介護教室・認知症サポーター研修

知症について学んでみたい方もぜひご参加ください。

介護・認知症について学びませんか

児童館へおいで！

日出町地域子育て支援センター ☎ 28-1212

■子育て広場・子育て相談

月～金9時～16時

■出張子育て広場（0歳～就学前）

11月19日（金）10時～12時 川崎地区
公民館

■赤ちゃん広場（0歳～）

11月10日（水）・18日（木）・24日（水）
10時～12時

日出町児童館 ☎ 72-0323

■親子リトミック教室（乳幼児 要申込）

11月9日（火）11時～12時

■たのしい絵本読み聞かせ（乳幼児）

11月19日（金）11時15分～45分

■ツインズのママたち集まれ

11月22日（月）10時30分～11時30分

■集団積み木で遊ぼう（小学生）

11月24日（水）15時～16時30分

■親子で楽しい3B体操（3歳～5歳児）

11月26日（金）11時～12時

■レクリエーション大会（年長児～小学生）

11月27日（土）13時30分～15時30分

さざんか児童館 ☎ 72-8383

■親子グループ活動（10時30分～）

11月の活動 ○0、1歳児クラス 9・30

日 ○3～5歳児クラス 10・17日 ○

2歳児クラス 11・25日

■絵本の読み聞かせ

11月6日（土）10時30分～

■赤ちゃん広場（0歳児 参加費200円）

11月8日（月）10時30分～

要申込

■さざんかちびっこ祭り

11月23日（火）10時～14時30分

■集まれ！ちびっ子

11月26日（金）10時30分～

豊岡地区公民館

テーマは「認知症の人の在宅介護について・介護者の心身の健康について」です。認知症について正しく理解できている事は介護負担の軽減にもつながります。また教室の2回目は「認知症サポート研修」を予定しています。

暮らせる町づくりに向けて、全国に100万人のサポーターを養成する活動が進められています。日出町でも多くの方に認知症サポートになつていただき、認知症になつても安心して地域で暮らせる町づくりの一歩にしたいと考えています。

介護されている方に限らず、認

- 第1回 11月24日（水）
■ 開催日程・内容
認知症の人の介護について

- 第2回 12月15日（水）
■ 開催日程・内容
認知症の人を介護している人の心情・葛藤について／認知症サポーター研修

- 第3回 1月21日（金）
■ 開催日程・内容
介護によるストレスと上手に付き合う方法について／介護の社会問題について

- 第4回 2月14日（月）
■ 開催日程・内容
在宅での口腔ケアの大切さと対処法について／認知症の人の口

- 対象者
自宅などで介護にたずさわっている方や介護について学習したい方。
■ 会場
日出町保健福祉センター
研修室
■ 申込期限
11月19日（金）
■ 申込先
健康増進課長寿健康係
☎ 73-3130

○ 第5回 3月11日（金）
■ 脳ケアについて
介護者の身体負担を軽減できる方法について／介護者の体の健康を保つ方法について

*開催時間は全て13時30分～15時30分

知事との意見交換会が開かれる

10月6日、大分市内のホテルにおいて知事及び両副知事、県幹部と県下18市町村長との意見交換会が開催されました。話し合いは主に①県の観光浮揚、②子育て環境と教育の充実の2点が中心であります。

知事から県政一般、さらには観光浮揚策や教育への取り組み状況が述べられ、同様に各首長からもそれぞれの立場から発言があり、いずれも地域の活性化、交流人口の増加に取り組む熱意を感じました。

日出町としても高速道路、国道10号など恵まれた交通アクセスにもかかわらず、入り込み人口の横ばい、減少傾向に歯止めをかけるため、近年受け入れ施設の整備や各種の取り組みを怠りません。

ハーモニーランド、別府湾ロイヤルホテル、ソラージュ大分・日出、城趾公園周辺、恵まれた海山などの自然環境歴史文化を今一度見直し、磨きをかけて観光資源として最大限に活かしたいものです。

さて、懇談の中で、知事から県下学校長との懇談会について触れた部分があります。そこで、懇談会について触れられた部分があまりとも関心をもつてお聞きしました。

平成22年度基礎・基本の定着状況調査で郡市別教科別偏差値平均について触れた部分であります。小学校5年生の国語と算数、中学校2年生の国語、算数、英語について県下16市郡の調査結果です。偏差値50を上回っている市郡の数は、小学校国語で

3、算数で6、中学校国語で7、算数で9、英語7でありました。県下の成績で相対的にみると、あまりかんばしい状況ではなく、首長としても一層の奮起をしなければなりません。

さて速見郡(日出町)の状況は中学校3教科においていずれも偏差値が50を超えて、2位、4位、2位と16市郡中の上位を占めており、心強く感じた次第です。

しかし小学校は比較的の上位にあります。がらも偏差値が50を下回つております。その中で、豊後高田市は小学校、中学校の各教科において全て県下第1位を

(黒板の書き方・分かり易く・先生が互いに授業を見せ合う)

③ 小・中学校・高校の連携をはかる。

ということになりそうです。いずれにしても教育力の向上は総合的な地域力に起因するように思えます。

トップセミナーに参加して

意見交換会に先立つて「人口減少時代における市町村運営」と題して、「一橋大学 辻琢也教授」の講演会がありました。その中で今後の町政に大きく

関係する事項を記します。

まず、地方財政の規模を国内総支出に占める割合で見ると、地方11.2%、中央政府4%となつており、地方の構成比は中央政府の約3倍となつています。

一方、地方の仕事で歳出の割合が高いのは主に衛生、学校教育、社会教育、警察、消防など日常生活に關係の深い分野となっています。

最近少子高齢化社会が進んでいると言われていますが、日本の総人口は平成16年12月の1億2783万8千人を変驚きました。学校と地域が一体となつた取り組みでの成果だらうと思います。機会をみて市長、教育長を訪ね教育力向上の取り組みをご教示頂き参考にしたいと思ひます。

知事は結びの言葉の中で3点を強調されたように思います。私の勝手な解釈ながらここに記しておきます。

① 家庭において生活習慣の力を身につけ、継続する(早寝、早起き、朝ご飯など)

② 先生方も教育力の向上をはかる

050年には40%になることが予想されています。

こうしてみると2035年には総人口は約13%減少、年少人口は約40%減少、高齢者人口は約45%増加の見込みとなります。大都市圏での人口偏在で地方圏での大幅な人口減少となり、地域間格差は一層顕著となつてきます。

将来の県内市町村推計人口指標を見ると、2010年を100として5年毎にみると、2025年まで100を超えているのは日出町だけで、90台が大都市など4市、他は70~80と大きくなっています。現在3万人を超えた人口が2万人台になる市も現れてきます。

しかし、現在高齢化率の一番低い大分市が14.1.2、日出町が12.5と老齢人口が増加し、一方現在高齢化率の高いところは老齢人口の減少とともに、人口の減少をもたらすと推計できます。

こうして県内市町村の平成12年を100として、平成21年までの10年間を総人口、老齢人口、社会保障関係費の関連をみますとまた違った意味での市町村の実情が考察できます。

この10年間の日出町人口が8.9%の増加に対し、老齢人口は25%、社会保障関係費75%といずれも大きく増加しています。国民健康保険や介護保険の給付が毎年増加することで、町民皆さんのが心配されるとともに、町政における財政負担もまた大きなものとなつてきます。住民の健康対策を重視する所以がここにあります。

(次号につづく)

歴史よもやま話 ⑧ ～萬里の藩政改革～

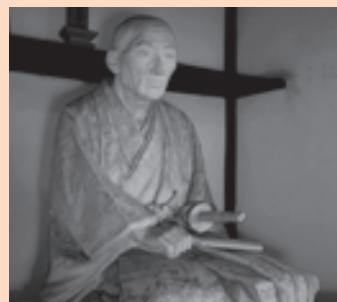
三の丸家塾で、教導・学問・加判と、多忙な帆足萬里先生宅に、13代藩主木下俊敦公が訪れ、家老就任を懇請した。萬里は相当悩み、「自分は多病でお勤めできそうにもない」と一度は辞退した。

当時は、天明の飢餓、文化・文政の災害に加え、借金で藩は困窮。財政立て直しは切迫していた。

天保3年（1832）7月3日、萬里は310石を190石に下げた低い禄で家老となり、二の丸に移った。

萬里は、綱紀肅正・藩費節減・風俗改善・賞罰励行・その他にわたり、農村部と城下部に大別。即時実行事項と長期計画的事項に分けて、事業仕分けを行い無駄使いを調べ、細部にわたり検討して改革に取りかかった。

例え、時計を6個8両で買った。1個は殿様用に、5個は各所に配置。当時、抹香を使い時間を計っており、抹香代が1年1両かかっていたから、時計を買っても8年で取り返せ、人件費も抑えられる。「役人もそろばん計算せよ」。萬里は実学を強調したが、旧態依然保守の役人たちは、のらりくらり。萬里は「時計を返しなさい」と怒った。



致道館にある萬里像

門人の瀧平之進（廉太郎の祖父）を家老にし、天保5年には門人の関準平を家老に加えたが、2人は期待に沿わなかつたので萬里は不満をもらしたという。

天保6年、萬里58歳は2年7ヶ月の改革なからで家老を辞し、仲ノ町に移った。

「日出町の歴史・文化」を語る会
魚住 修三 筆

図書館だより

新刊案内

「着ればわかる！」

酒井順子：著 文芸春秋



「着てみたい、なりきりたい」
欲求のままに、18着の本物に袖を通した体験を綴る。

「11をさがして」

パトリシア・ライリー・ギフ：著
文研出版



ある日サムは屋根裏で幼い頃の自分の写真が載った新聞記事を見つける。そこには「行方不明」の文字が！ サムは真相を探る。

「田んぼで遊ぼう！」

里と生きものネットワーク：著
地球丸



田んぼの草花や生きものを紹介し、それらと遊ぶ方法、四季の楽しみ方を解説。

「三千枚の金貨」（上・下）

宮本輝：著 光文社



おおらかに歩く「大人の心」。その宝探しを5人の男女の胸躍る道程に描く。

休館日

1日・3日・8日・14日・15日・22日・23日・25日・
28日・29日・31日

読み聞かせ

萬里図書館2階おはなしのへやで開催しています。

●ブーフーによる読み聞かせ

とき 11月13日（土）・27日（土）
10時30分～11時30分

対象 幼児から小学校低学年

●FUMFUM（ふむふむ）による読み聞かせ

とき 11月26日（金） 11時～11時30分
対象 0歳から5歳くらいまで

問合先

萬里図書館 72-2851

募集

大分県立聾学校幼稚部入学者
募集

出願関係書類は平成23年1月24日(月)から大分県立聾学校事務室において、平日9時～16時の間、交付します。

○両耳の聴力レベルがおおむね60デジベル以上で、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能または著しく困難な方。
○平成17年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた方。

放送大学4月生募集

放送大学では平成23年度第1学期(4月入学)の学生を募集です。放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など

地震減災・災害時要援護者対策講演会

災害経験者を講師に迎え講演会

お年寄りや障がいをもつている人たちへの避難時における配慮等について、専門家や震

子育て支援UPプログラム「ハソコン講座」

【実用ワード(応用)講座】

○とき (火) 10時～12時 12月7・14・21日

年齢・性別を問いません。
有料託児あります。

▼出願書類の受付期間 平成23年2月7日(月)9時～2月18日(金)16時までの平日のみ

○ 097-543-2047

▼問合先 大分県立聾学校 ☎ 097-543-2047

▼出願期間 11月15日(月)～平成23年2月28日(月)

○ 16612

▼問合先 放送大学大分学習センター ☎ 097-549-16612

▼とき 11月27日(土)時～16時5分

▼ところ 町中央公民館

▼問合先 大分県生活環境部防災危機管理課 ☎ 097-506-3155

11月27日(土)時～16時5分

定期相談

●行政相談

ところ 役場新館3階332会議室
とき 每月第1火曜日 10時～15時
問合先 総務課 ☎ 73-3150

●心配ごと相談

ところ 役場新館3階332会議室
とき 每月第2火曜日 10時～15時
問合先 福祉対策課 ☎ 73-3121

●心配ごと相談・行政相談合同相談会

ところ・とき 豊岡ふれあいセンター
11月16日(火) 10時～15時
問合先 総務課 ☎ 73-3150

●障がい児・者等支援相談

相談先 社会福祉法人「みのり村」みのり障がい者生活支援センター ☎ 72-2818

●障がい児・者生活支援相談

相談先 太陽の家障害者生活支援センター ☎ 72-1682 (受付時間: 7時～21時)

●高齢者総合相談

相談先 日出町地域包括支援センター(健康増進課内) ☎ 73-3115

●家庭児童・母子婦人相談

相談先 福祉対策課 ☎ 73-3121

●いつでも子育てほっとライン

☎ 097-545-0110 (24時間 365日受付)

●無料人権相談所

相談先 大分地方法務局杵築支局
☎ 0978-62-2271

●法律相談(要予約)

ところ 日出町保健福祉センター 相談室
とき 每月第2・4火曜日(祭日の場合は休み)
13時30分～16時30分
費用 30分につき5,000円
申込・問合先 大分県弁護士会
☎ 097-536-1458

*杵築市では毎週金曜日、国東市では毎月第2・3・4木曜日に開催しています。

リフォーム・新築工事

既存建物の耐震化工事行います



仲良く 楽しく 誠実に
有限会社 樋口建設

樋口 浩 一級建築士事務所
一級施工管理技士、木造住宅耐震診断士

日出町 3408-2(産業道路入口) ☎ 72-8486
http://www.higuchiy.com FAX 72-9595



一般歯科・矯正歯科・小児歯科
山下歯科医院

11月1日より
平日診療時間
変更のお知らせ
15:00～19:30
14:30～19:00

診療時間

平日: 9:00～13:00 / 14:30～19:00
土: 9:00～13:00 / 14:30～18:00
休日: 木・日・祝

速見郡日出町3184番地 TEL.0977-28-0058

平成23年成人式のお知らせ

■とき 平成23年1月9日(日) 受付10時~/式典11時~

■ところ 日出町中央公民館

■対象者 平成2年4月2日~平成3年4月1日生まれの方

*日出町に住民票がある方には別途通知します。

*日出町に住民票がない方で、出席を希望される場合は生涯学習課までご連絡ください。

■申込・問合先 生涯学習課☎ 73-3156

▼とき 15時
▼ところ 杵築市健康福祉センター
▼内容 地域の人々が一堂に会して、障がい者の地域生活を推進することを目的に開催します。

きのみフェスタ

その他

日出都市計画区域マスター
ラン変更案の縦覧
日出都市計画区域マスター
ラン変更案の縦覧

▼とき 11月28日(日) 9時
▼ところ 杵築市健康福祉センター
▼内容 プラン変更案についてご意見のある方は、縦覧期間満了の

▼とき 10月1日から12月31日までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納付された方については、来年の2月上旬に送付されます。

▼問合先 別府年金事務所☎ 22-5111

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます。年末調整や確定申告の際に国民年金保険料の納付を証明するものですので、大切に保管してください。

1月1日から9月30日までに間に国民年金保険料を納付された方を対象に、11月上旬頃、日本年金機構本部より「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が郵送されます。

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます。

▼とき 11月25日(木)午前10時~12時/午後の部13時30分~15時30分
▼ところ 日出町役場3階
▼内容 大会議室

▼問合先 樹の実園☎ 097-8-62-2111
▼縦覧期間 11月10日(水)~24日(水)

日までに、大分県に対しても意見書を提出することができます。

体育馆前 新鮮市場
コイン精米機
オープン

お気軽にご精米できます
0978-62-2920・コイン精米・オオトリ



▼ところ	東京国際フォーラム
▼対象	平成24年3月卒業予定の大学生等
▼問合先	大分県商工労働部
3	☎ 097-506-334

▼大分県内企業による合同企業説明会 in 福岡	大分空港道路、大野川大橋有料道路、米良有料道路が12月1日から無料化となります。現在お持ちの回数通行券の払戻し手続きをお早めにお願いいたします。払戻しは、現地管理事務所及び大分県道路公社にて受け付けております。
▼とき	平成23年1月29日(土) 13時30分～17時
▼ところ	福岡ファッショニブル
▼対象	平成24年3月卒業予定の大学生等
▼問合先	大分県商工労働部
3	☎ 097-506-334

▼求人	●レジ担当員3人●店員1人
●介護職員1人●生花配達及び販売1人●対面担当係1人	●選卵作業員1人●鮮魚販売員1人●認知症改善相談センター内での訓練士補助1人●
●看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人
●看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人
●看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人

中根波琉人(賢一佐尾)	河野陽真(陽一)	長野河野(陽一)	伊藤庄司(伊藤)	藤川相良(藤川)
イサーサービス)生活相談員1人●通所介護施設(デイサービス)	通所介護施設(デイサービス)	通所介護施設(デイサービス)	通所介護施設(デイサービス)	通所介護施設(デイサービス)
●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人
●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人
●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人	●看護師1人●正看護師1人●通所介護施設(デイサービス)看護師兼機能訓練指導員1人●通所介護施設(デイサービス)看護師1人●清掃作業員2人●歯科衛生士1人●薬剤師1人●営業3人

大分県私立幼稚園連合会 別府地区合同主催
子育て応援特別企画 ハーモニーランドの新しいイベントに

対象日 16時公演
招待期間 (入園受付時間は16:00~20:00)
'10.11/13.14.19~23.26~28(計10日間)
ハーモニーランドへのお問い合わせ TEL 0977-73-1111 [営業時間内]
*以上9月届出分 (敬称略)

冬の七夕伝説
～ひじ竹灯りとイルミネーションの祭典～
20万球のLEDと2万の竹、そしてライブショー。
この冬「光の祭典」誕生。

参加方法 専用の参加券が必要になります。詳しい内容は、下記の私立幼稚園にお問合せください。【各園先着100組(計900組)限定】

・別府大学附属幼稚園 0977-66-3555	・明星幼稚園 0977-24-0867	・ひめやま幼稚園 0977-66-7851
・別府中央幼稚園 0977-24-1848	・カトリック海の星幼稚園 0977-25-3534	・わかば幼稚園 0977-66-0470
・真愛幼稚園 0977-21-5016	・聖武幼稚園 0977-72-1500	・むさしこども園 0978-68-0194



詩吟の全国大会へ出場する麻生さん（写真左）
と川野さん（写真右）

大分県から5人の方が全国大会へ出場する中で日出町から2人も出場できるのはとても珍しいことだそうです。しかも、大分県の詩吟のレベルは高く、ここでの優勝は全国大会でも上位入賞が期待できると言います。

二人とも普段は、町内で指導者として弟子に詩吟を教えながら、毎日の練習も欠かしません。

麻生さんが詩吟を始めたのは12歳。近所に詩吟の先生がいたことと、とにかく大声で歌うことが好きだったので詩吟を始めましたと笑顔で話します。

川野さんは34歳のとき、麻生さんの父親に詩吟大会に連れて行つてもらつたとき、その迫力に圧倒され、魂を抜かれたりうだつたと当時の感動を振り返ります。これがきっかけで詩吟を始めたと言います。

詩吟の魅力を「詩吟は漢詩を歌うもの。もちろん思いつきり声を出して歌えるこ

コロムビア全国詩吟コンクール大会出場 「全国大会でも上位入賞を目指す」

情報をお待ちしています

「何かに一生懸命に打ち込んでいる人」、「目標に向って頑張っている人」などを紹介するコーナー

「輝くひじ人」に掲載する人の情報をお待ちしています。

連絡先 総務課広報広聴係

☎ 73-3150

FAX72-7294

No.8

輝くひじ人

川野 悟之さん(66) 川崎宗行
麻生 義人さん(60) 藤原南部

8月29日、大分市で開催された「コロムビア全国詩吟コンクール大分地区大会」での66歳以上の部で川野悟之さん、35歳～65歳までの部で麻生義人さんが優勝し、全国大会への切符を手にしました。全国大会は12月5日、東京都で開催されます。川野さんは、初めての全国大会出場ですが、麻生さんは3回目の出場。

この大会は詩吟の大会の中でも最も大きな大会であり、流派を超えた参加者全国5万人の中から、地区ブロックを勝ち抜いたおよそ160人が全国大会に出場します。

大分県から5人の方が全国大会へ出場

する中で日出町から2人も出場できるのはとても珍しいことだそうです。しかも、大分県の詩吟のレベルは高く、ここでの優勝は全国大会でも上位入賞が期待できると言います。

二人とも普段は、町内で指導者として弟子に詩吟を教えながら、毎日の練習も欠かしません。

麻生さんが詩吟を始めたのは12歳。近所に詩吟の先生がいたことと、とにかく大声で歌うことが好きだったので詩吟を始めましたと笑顔で話します。

川野さんは34歳のとき、麻生さんの父

親に詩吟大会に連れて行つてもらつたとき、その迫力に圧倒され、魂を抜かれたりうだつたと当時の感動を振り返ります。これがきっかけで詩吟を始めたと言います。

詩吟の魅力を「詩吟は漢詩を歌うもの。もちろん思いつきり声を出して歌えるこ

とも魅力ですが、その漢詩ができたときの時代の背景や作者の気持ちを学ぶことができる楽しみもあります」と麻生さんが話すと。川野さんが「作者の気持ちを理解しなければ、人の心にうつたえかけられるときには、まず最初に時代背景や作者の気持ちを理解するように指導していきます」と話します。

全国大会への意気込みを、麻生さんが「練習どおりの力を十分に發揮して、上位入賞を目指したい」と。川野さんが「大分県の代表は過去ずっと好成績を残しています。自分もこれに続きたい」と話してくれました。

二人は「CDデビューを目指して、大分県の代表は過去ずっと好成績を残しています。自分もこれに続きたい」と話しています。

二人は「CDデビューを目指して、大分県の代表は過去ずっと好成績を残しています。自分もこれに続きたい」と最後に話しました。

日出町の人のうごき		
平成22年10月1日現在の住民基本台帳の登録人口		
人 口 28,631 (+ 19) [+ 68]		
男	13,698 (+ 21)	[+ 33]
女	14,933 (- 2)	[+ 35]
南端	319 (- 1)	
豊岡	7,226 (+ 2)	
日出	5,862 (+ 6)	
藤原	3,822 (- 2)	
川崎	5,863 (+ 6)	
大神	5,539 (+ 8)	
世帯数	11,407 (+ 22)	[+ 50]
() 内は前月比		
□ 内は今年4月1日比		